

# あさくち

## 議会だより

NO. 58

令和5年 2023

8月1日発行



あさくち議会

検索

CONTENTS

P2/6月定例会

P5/委員会レポート

P8/市政を問う!一般質問



## 令和5年度 補正予算

3億4,089万円

## の増額補正予算を可決

一般会計の総額は150億7,159万円 (対前年同期比1.5%増)

## 議会が注目する事業



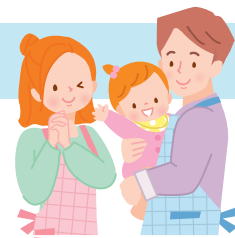
## 補正予算(第1号) 専決処分\*



## 低所得の子育て世帯を給付金で支援

食糧費の物価高騰に直面し、影響を特に受ける低所得の子育て世帯に、特別給付金(児童扶養手当対象の子ども1人当たり5万円)を支給。

※専決処分: 議会が議決又は決定する事項を、特に緊急を要し、議会を招集する時間的余裕がない場合などに、市長が議会に代わって処理すること。



4,669万円

## 補正予算(第2号)

## 相談システム導入により市役所の相談窓口を充実

市役所本庁舎と離れている健康福祉センターや総合支所等に、モニターでお互いの顔が見える専用の相談システムを整備し、来訪者に移動を求めない相談手続き窓口の整備を行う。



1,741万円



## 義務教育学校の開設に向け寄島小学校を改修

寄島地区の施設一体型の義務教育学校について、令和7年4月の開設に向け、寄島小学校の改修を行うための準備を進める。

482万円

## 物価高騰に対する支援

### 学校給食費の値上げ分を補助

令和5年度から市立園・小・中学校の給食費の改定(値上げ)を行っているが、その改定分を公費負担とし、保護者の経済的負担の軽減を図る。



717万円

### 低所得の世帯を給付金で支援

エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた低所得世帯(住民税非課税世帯)へ1世帯当たり3万円を給付する。



1億2,730万円

### 農家を肥料等の購入補助で支援

肥料高騰対策及び市内農産物の高付加価値化を推進するため、有機質肥料や寄島産牡蠣ガラ有機石灰を導入する農家を支援する。



300万円

### 中小企業を販路開拓等の補助で支援

アフターコロナに向けて頑張る事業者を支援するため、市内事業者の海外等への販路開拓やEC※の活用を支援する。



2,500万円

※EC:electronic commerce 電子商取引の略

## 三ツ山スポーツ公園シェルターを改修

三ツ山スポーツ公園シェルターのテントの張替、LED照明の導入等を行う。

9,482万円

各議員の判断はいかに!?

# 議案審議



参加議員

妹尾 貴信 斎藤 貴士 竹本 寛 早苗 ネ 原 有美 山下 周吉 石井 由紀子 藤井 立子 伊澤 誠(議長) 佐藤 正人 加藤 淳二 桑野 和夫 藤澤 健 大西 恒夫 香取 良勝 井上 邦男

※議長は採決に加わりません。

定例会

委員会レポート

市政を問う！  
一般質問

今回の議案は全員が **すべて賛成** でした。

承認	専決処分した事件の承認 (市税条例の一部改正)	補正予算	令和5年度一般会計補正予算(第2号)
	専決処分した事件の承認 (国民健康保険税条例の一部改正)		令和5年度介護保険特別会計補正予算(第1号)
	専決処分した事件の承認 (令和5年度一般会計補正予算(第1号))	その他	工事協定の締結 岡山県西部地区養護老人ホーム組合の解散に伴う財産処分 岡山県西部地区養護老人ホーム組合の解散に伴う事務の承継
条例	行政不服等審査会条例の一部改正	諮問	人権擁護委員の推薦意見
	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正		
	地域経済牽引事業の促進に係る固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正		
	市民会館金光条例及び保健センター条例の一部改正 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正		



## 全員協議会を開催(4月27日)

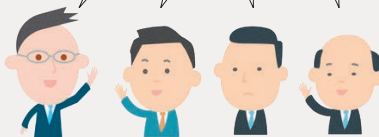
○議会に対する陳情の検討について

令和5年3月定例会で採択した「監査委員の意見に議会として適切に行動することについての陳情」について、議員全員で話し合いを行った。

その結果、政務活動費の支出は、市民から疑惑を持たれないように条例や手引きを順守し、説明責任を果たせるよう、適切に整理しておくことを共有した。

また、議員有志で、政務活動費について、今後研究を行うっていくことも決定した。

支出について  
しっかり説明できるようにしよう!



### 「市からの報告」

○市役所の組織再編について

行財政改革の一環として、効率性かつ効果的な行財政運営を行うため、令和6年4月から、組織の再編を行う予定。

- ① 両総合支所の産業建設課を廃止し、本庁の産業建設部と上下水道部の各課へ、職員と業務を集約
- ② 産業建設部は市役所本庁の分庁舎へ、上下水道部は金光総合支所庁舎へ配置

○寄島地区の義務教育学校について

寄島地区の義務教育学校については、寄島小学校を改修し、2年後の令和7年4月に開設する方向で、特色のある学校となるように進めていく。

# 学童保育の充実を 鴨方東小学校放課後児童クラブの新築



鴨方東小学校放課後児童クラブを視察

学童保育の充実を

鴨方東小学校放課後児童クラブの新築

令和5年4月1日から使用開始された鴨方東小学校放課後児童クラブは、延床面積が約142㎡の平屋で、国・県の補助金を活用し、総事業費約5400万円をかけて建設された。

以前から使用している小学校の教室と新施設の両方で定員は80名となり、現在は59名の児童が登録している。運営主体は、鴨方東小学校にこのクラブ運営委員会、職員数は支援員7名、補助員5名の計12名で保育を行っている。  
また、支援員から実施状況、児童の様子について説明を受けた。

**Q** クラブで行っている行事の中で映画を見に行く時など、支援員の対応は。また、その費用は。安全確保のため補助員を増やすなど、通常より人数を増やして対応している。支援員などの費用については事業費から負担している。

**Q** 1年生と2年生が2つの施設に分かれているが、分ける基準はあるのか。

**A** 1年生は入ったばかりなので名簿順で振り分け、2年生は昨年度のクラス分けを参考にして分けている。

**Q** 避難訓練はしているのか。

**A** 行っている。

**Q** 今までクラブが使っていた小学校の教室と新施設の距離が少し離れているが、連絡手段はあるのか。

**A** 直通の内線電話がある。

(5月2日開催・現地視察)

## 施設予約システムについて

市内の公民館や体育館、健康福祉センターなど、26施設をスマホなどオンラインで予約し、支払いもPayPayやLINEPayの電子決済を利用することにより窓口に来なくても予約や支払いが可能なシステム

を導入する。

運用開始は、7月11日(火)12時を予定しており、7月号市報、各窓口でのチラシ配布、市ホームページ、メール配信などで周知を行う。

**Q** システムへのアクセスは市のホームページからできるのか。

**A** またメール配信などでも、アクセスできるよう周知をするのか。

**A** どちらも行うよう考えている。

**Q** 受付を委託している施設もあるが、これはどうなるのか。

**A** 従来の窓口での受付も引き続き行っていく。施設の管理は今ままで通り委託するので、システム導入によって変わることはない。

(6月15日開催)

〈浅口市施設予約Webサイト〉



施設予約システムの画面

### 総務文教

委員長	藤井 立子
副委員長	妹尾 義信
委員	沖原 有美
	石井由紀子
	伊澤 誠
	加藤 淳二



新ごみ焼却施設イメージ（里庄町新庄）

# 令和8年4月供用開始（予定） 新ごみ焼却施設建設

新ごみ焼却施設は、笠岡市、井原市、浅口市、里庄町、矢掛町の3市2町で構成する「岡山県西部衛生施設組合」が平成26年3月に策定した「西部ブロックごみ処理広域化実施計画書」に基づき、整備が進められている。今年度8月に土木建築工事に着手し、令和8年4月の供用開始を予定している。24時間稼働で、処理能力は、1炉65トンが2炉あり、合わせて130トンである。処理方式は、最も採用実績の高いストーカ式焼却炉（乾燥・燃焼、後燃焼）で、安心・安全な施設となっている。

また、余熱を利用した広域連携拠点施設（温水プール、フィットネスジム、温浴施設など）についても説明を受けた。

**Q** 広域連携拠点施設の建設については、どのように進めていくのか。

**A** 今後、施設を建設する事業者と、運営する事業者を一定の条件をつけ、入札により決めていく。

**Q** 温浴施設やプールなどではどのような利用形態となるのか。

**A** 運営事業者の提案にもよるが、利用の度に料金を払うほか、会員制となる可能性がある。プールはスイミングスクールとしての利用も考えられる。

**Q** ごみピットに溜めておけるごみの量は？

**A** 国の指針である1週間程度のごみを溜めておける容量となっている。（5月1日開催・現地視察）

## おこやみハンドブックを作成

お亡くなりになられた方の諸手続きについて、遺族の方が、漏れや誤りを減らし、効率的に事務手続きを進められるよう、おこやみハンドブックを作成した。このハンドブックには、死亡届け提出後、市役所で必要となる手続きの一覧や概要等を掲載している。

市ホームページに掲載しているが、

閲覧できない場合等のために、コピーしたものを本庁市民課、両支所市民生活課、社会福祉課、学校教育課に配置し、要望があればお渡ししている。

## 窓口番号案内システムを設置

デジタル技術を活用し、行政サービスを向上させることを目的とした浅口市DX（デジタルトランスフォーメーション）推進の一環として、本庁舎市民課窓口へ番号発券機、番号案内表示器、市政情報等を放映するモニターを設置した。



番号発券機

このシステムの導入により、わかりやすい案内表示と音声による呼び出しといった市民サービスの向上、来庁者の受付整理といった職員の業務の効率化が期待される。また、広告収入でシステム管理費をまかなうことによる経費の節約にもつなげている。

（6月16日開催）

### 民生

委員長	佐藤 正人
副委員長	桑野 和夫
委員	山下 周吾
	大西 恒夫
	井上 邦男



浅口工業団地第2期整備事業の候補地

# 民間事業者の資金・技術を活用 工業団地整備事業(2期)

平成30年度から浅口工業団地の第2期整備(金光町佐方)に着手しているが、新型コロナウイルスの影響もあり、地権者の意向確認などに時間を要している。また、建設資材の高騰により、事業費は当初の計画よりも増えることが見込まれている。

市が単独で事業を実施することは困難と考え、民間事業者の資金やノウハウを事業に取り入れることについて検討してきた。

具体的には、昨年11月に「サウンディング型市場調査」を実施。11事業者から、事業への意欲、採算性、市と連携する際の役割分担等の意見を聴取した結果、民間事業者と連携した事業の実施は十分に可能であると結論づけた。

6月以降、公募により民間事業者を選定する予定である。

※サウンディング型市場調査

市有地の活用に興味のある民間事業者から、意見やアイデアを収集する事を目的とした調査。

Q 用地買収の同意が得られている範囲は、すぐにも業者にして開発を進めるべきでは。

A スピードアップと財政負担を下げるためにも民間事業者を活用していきたい。

Q 2期工事の終期は決まっているのか。

A 民間事業者の開発地区にもよるが、スムーズに進んだ場合、操業開始は令和9年から10年度頃と見込んでいます。(5月8日開催)

## JR山陽本線にかかると 跨線橋などを修繕

金光公民館付近の金光跨線橋と金光駅東にある横断歩道橋について、コンクリートのひび割れや、鉄骨部分の腐食があるため、補修工事を行う。

市は、JR西日本と3億2459万

6000円で協定を締結し、順次工事を行うっていく。

Q 跨線橋の工事をする際には、交通規制などはあるのか。

A 基本は車を通しながら工事を行うが、片側通行となるなど規制が出てくる可能性がある。

Q 協定金額はどのようにして決めたのか。

A 市とJR西日本が、お互い協議を行い決定した。(6月19日開催)



金光跨線橋



金光駅東横断歩道橋

産業建設

委員長	香取 良勝
副委員長	藤澤 健
委員	斎藤 貴士
	竹本 寛
	早苗 ネネ



## 6月定例会では、14人の議員が市の考えを聞きました。

質問者	質問項目
香取 良勝	<ul style="list-style-type: none"> <li>○浅口工業団地整備事業の2期工事について</li> <li>○顧問弁護士について</li> <li>○その他税金の無駄について問う</li> </ul>
斎藤 貴士	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「持続可能な浅口市」の実現に向けた方策について</li> <li>○「楽しい浅口市」の実現に向けた方策について</li> <li>○漁業者支援について</li> <li>○ひとり親世帯への支援について</li> </ul>
竹本 寛	<ul style="list-style-type: none"> <li>○浅口市の教育環境等について</li> </ul>
山下 周吾	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子どもたちの熱中症対策について</li> <li>○公立中学校部活動の地域移行について</li> <li>○防災について</li> <li>○浅口市のまちづくりについて</li> </ul>
桑野 和夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>○約3年半にわたった新型コロナウイルス感染症への対応と今後について</li> <li>○生活保護について</li> <li>○小学校でのいじめと不登校について</li> </ul>
大西 恒夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>○北海道厚岸町との交流について</li> <li>○高校生議会の開催について</li> </ul>
佐藤 正人	<ul style="list-style-type: none"> <li>○浅口市の選挙投票率向上への取組について</li> <li>○中学校の不登校対策について</li> </ul>
加藤 淳二	<ul style="list-style-type: none"> <li>○DX(デジタルトランスフォーメーション)推進による市の組織再編について</li> <li>○第2次浅口市環境基本計画について</li> </ul>
沖原 有美	<ul style="list-style-type: none"> <li>○公共施設における男性トイレのサンタリーボックス設置について</li> <li>○公共交通の拡充について</li> </ul>
妹尾 義信	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市内飲食店の支援について</li> <li>○下水処理に伴う汚泥について</li> <li>○デジタル行政について</li> </ul>
藤井 立子	<ul style="list-style-type: none"> <li>○リチウムイオン電池の適正な処理方法について</li> <li>○映画「とんび」後のまちづくりについて</li> </ul>
早苗 ネネ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○マイナンバーカードについて</li> <li>○ワクチン接種について</li> </ul>
石井由紀子	<ul style="list-style-type: none"> <li>○2023年あさくち花火大会開催について</li> <li>○市内公共施設の老朽化に伴う管理状況と対策について</li> </ul>
井上 邦男	<ul style="list-style-type: none"> <li>○農業用ため池の管理について</li> </ul>





香取 良勝



### 浅口工業団地整備事業の 2期工事について

**問** 1期工事終了から2期工事は全然進んでいない。工業団地整備予定地の地主からは、栗山市長には土地は売らないという話も聞く。どうなっているのか。

**市長** 新型コロナウイルス感染症の影響等により遅れが生じたが、今後、公募型プロポーザルにより速やかに事業を実施する。

**問** コロナ禍を理由にしているが、民間企業が行っている金光の土地は開発が即座にできている。1期工事完了後、工業団地推進室の人員費と関係事業費はいくらか。

**産建** 市としては、コロナ禍において不要不急の外出自粛を要請していた。4年間で人員費は約1億円。関係事業費は約1.3億円で合わせて2.3億

円。

**問** 工事が延びるほど市民の税金が使われる。これだけあれば、給食費無料化もできる。これから事業を進めれば、さらに2.3億円かかる。民間企業がやれば1年や2年ですぐに開発工事ができる。市ではなくすべて民間企業に任せて早急に事業をやっていくべきでは。

**産建** 6月下旬から7月上旬にかけて事業者を公募する。12月頃までに決定し、来年1月から3月にかけて地元説明会等を行う。令和6年度に実施設計、7年度から造成工事を開始し、8年度から9年度を目途に完了する予定。

### 顧問弁護士について

**問** 顧問弁護士が前田市長の時には1名だったのに、栗山市長になってなぜ2名にしたのか。税金の無駄遣いではないか。

**企財** 1つの事案において異なる見地から法的解釈の助言を受けることができるため、2名体制にしている。



齋藤 貴士



### 「持続可能な浅口市」の 実現に向けた方策について

**問** 市の企業誘致のこれまでの実績や支援制度と今後の施策は。

**産建** 企業誘致は過去5年間、製造業を中心に8社。支援制度は一定の要件を満たす場合に浅口市企業立地促進奨励金制度などがある。今後は工業用地確保のため、浅口工業団地2期事業を進めていく。

### 「楽しい浅口市」の 実現に向けた方策について

**問** 特産品を市内外に発信するため、市内で開催する朝市やマルシェに対し、補助金などの支援をしては。

**産建** 令和4年度より中小企業成長支援事業補助金に、マルシェ開催事業を追加している。また、市観光協会のあさくちマルシェにも開催経費の補助や

広報の支援を行う。

**問** 市内の起業者を増やすために、起業に対する補助や支援の充実は。また、空き家を利活用した店舗に対する補助金などで、空き家対策につなげてはどうか。

**産建** 令和2年度から創業支援事業補助金を設けている。また、令和5年度より空き家などを活用した場合、改修等に係る費用の補助上限額を50万円から100万円に引き上げた。

### 漁業者支援について

**問** 農林水産省が、港に宿泊施設や飲食店などを整備しやすくする新制度を検討しているが、市はどう捉えているか。

**市長** 寄島地区には、漁業の活性化が不可欠と考え、農林水産省が進める制度について注視したい。

### ひとり親世帯への支援について

**問** どのような支援策を講じているか。

**健福** 令和2年度から給付金を支給するなどの支援を行ってきた。令和5年度は企業から米やそうめんなどの寄付もあり、食料支援を2回行っている。



竹本 寛



### 浅口市の教育環境等について

**問** 各種検定試験の支援はあるか。

**教育長** 英語検定については、令和2年度より、準2級以上の合格者へ報奨金1万円を交付している。

**問** 受検しやすい環境整備として、学校での実施ができないか。

**教育長** 高校や公民館など関係機関が連携して、より良い体制を今後検討していく。

**問** 各種検定の受検料の補助金交付制度はできないか。

**教育長** 浅口市では英語教育に特に力を入れている。今の英語検定の報奨金制度を継続していく。

**問** インクルーシブ教育において、学校では一人一人に配慮ができていないか。

**教育長** 合理的配慮ができるようにきちんと研修を行っている。

**問** 浅口市としてはインクルー

シブ教育における課題の改善に向けてどのような取組をしているか。

**教育長** 人権・道徳教育を充実させ、すべての人が多様性を認める教育を推進する。ICTの活用により授業形態の工夫もしていく。

**問** ICTの活用状況において先生や地域によって差は出ていないか。

**教育長** 教員の研修等を行い、しっかりと伝えていける状況にしていく。

**問** 鴨方中学校のプールの現状は。

**教育長** 令和元年度に漏水が発生し、コロナ禍もあったが、令和4年度からは鴨方B&G海洋センタープールを利用した授業を行っている。

**問** 修繕するとしたら費用はいくらかかる見込みか。

**教育長** 約2億円かかる。

**問** 学校から移動する時に、移動する生徒はもちろん、交通量の多い道路を通るため、保護者の見守りも負担になっている。バスは利用できないか。

**教育長** 検討をしたが、全員がバスに集合するまでの時間的ロスや、費用面からも難しい。



山下 周吾



### 公立中学校部活動の地域移行について

**問** 指導者に係る費用や、子どもが移動することで発生する経費はどう考えているか。

**教育長** 令和4年度に、部活動のあり方について検討してきた。今後、部活動地域移行推進委員会を立ち上げ、費用面も含め検討課題について協議していく。

**市長** まずは週末の合同部活動を試行するなど、引き続き運動や文化、芸術に親しむことができるよう支援していく。

### 防災について

**問** 里見川の改修や浚渫など、県との協議はどのように進んでいるのか。

**産建** 里見川に関する護岸の改修や河川内の堆積土を撤去する浚渫の要望など、地域からの意見を取りまとめた要望書を

作成し、県に提出した。

**問** 要望書の内容は。

**産建** 昨年度に、市役所の南西付近と笠岡信用組合前の護岸整備、氾濫対策として鴨方・金光を含め3カ所の浚渫を要望した。

### 浅口市のまちづくりについて

**問** 立地適正化計画は何を計画していくのか。

**産建** 住居や医療・福祉施設・商業施設などの設置について、自然災害の被害を考慮した誘導区域を設定し、穏やかに土地利用を誘導するもの。都市計画マスタープランを具体的に進めるものになる。

**問** 地域公共交通計画も併せて進めていくことが効果的だと思いが。

**企財** 都市計画部局と公共交通部局がしっかりと連携しながら、取組を進めていくことは重要であると考え。まちづくりにかかる大きな変化により、大幅に公共交通網を見直す必要性が生じた場合は検討する。

**市長** 持続可能で安心・安全なまちづくりを進めるため、どのような内容の計画が有益なのかしっかりと検証していく。



桑野 和夫



約3年半にわたった新型コロナウイルス感染症への対応と今後について

**問** 5類に移行したことにより、医療費も自己負担が生じることで、受診抑制が起ると懸念されるが、今後の対応は。

**健福** 再び猛威を振るう可能性もあることから、一定の感染対策を呼び掛けている。ワクチン接種については、「令和5年春開始接種」が始まっている。

**市長** 国の方針に従い、経済活動の維持と市民の安全を第1に考え、感染拡大防止に取り組んでいく。

### 生活保護について

**問** この5年間の申請数の動向は。  
**健福** 平成30年度が18件、令和元年度が21件、2年度が14件、3年度が16件、4年度が26件。  
**問** ケースワーカーの人数と1

人が担当している件数は。

**健福** 正職員2名がおり、約100世帯を担当し、1人50世帯くらいに対応している。

**問** 保護世帯へしつかり訪問し、自立を促進することも大事である。全体的に生活保護の担当部署としての体制強化が必要ではないか。

**健福** 人員確保の必要性は認識している。適正な職員数や他の業務との兼務について、現在も協議し、今後の課題だと思っている。引き続き体制整備に向けて、協議・検討していく。

**問** 扶養照会という制度を市は行っているか。また、実際に家族から支援につながったケースはあるか。

**健福** 適正な保護費を決定するために、金銭的な援助につながったケースはない。

**問** 生活保護は一般的に最後のセーフティネットといわれている。申請をためらう要因と思われる扶養照会をやめてはどうか。

**市長** 生活保護制度は、最低限の生活を保障する最後の安全網という重要な役割と機能を担っている。扶養照会についても国の弾力的な運用があれば柔軟な対応をしていく。



大西 恒夫



### 北海道厚岸町との交流について

**問** 昨年の10月に北海道の厚岸町から議員視察にいられた。浅口市はアッケシソウの自生地であり、厚岸町は、日本で初めてアッケシソウが発見された町。海に面し、カキやアサリの漁も盛んで、浅口市と似通ったところがある。これをきっかけに、厚岸町と何らかの交流をしては。

**教育次** 今年度、厚岸町から、アッケシソウの保全活動についての講演依頼もいただいている。今後同じアッケシソウが自生するまちとして交流していければと考えている。

**市長** 厚岸町は、当市の貴重な地域資源であるアッケシソウの名前の由来となった地であり、カキなどの豊富な海産物を特産品に持つことなどの共通点がある。交流を深めたいと考えており、今年10月に私自ら厚

岸町を表敬訪問し、厚岸町長に会う予定としている。

### 高校生議会の開催について

**問** 次代を担う若者の視点から、自分たちで考える様々な課題について、質問や提案をいただき、それらを市政に組み込むような、高校生議会を提案する。

**教育次** 高校生が、市政や市議会への理解と関心を深めることを目的として、高校生議会を開催する自治体があるが、開催に当たっては、学校関係者などの理解・協力が必要であると考え

**教育長** 県内の高等学校を所轄する岡山県において、岡山県高校生議会が開催されている。令和4年度には、鴨方高等学校と金光学園高等学校の生徒が参加。企業誘致や地元自治体と企業などとの連携、協働など、多方面から県議会議員の方々と活発に意見を出し合い、議論を交わしている。

市は、高校からの相談があれば、高校生議会など、研究していく。



佐藤 正人



### 浅口市の選挙投票率向上への取組について

**問** 近年の投票率についての認識は。

**企財** 浅口市議会議員選挙の投票率は、平成30年が63・38%、令和4年が61・56%と低下傾向であり、特に若年層の投票率向上が重要な課題であると認識している。

**問** 四国中央市では主に高齢者や障がい者へのサポートを目的として、投票支援カードとコミュニケーションボードをセットで活用しており、完璧なバリアフリー対応と言える。浅口市でも導入できないか。

**企財** 大変有効な投票の支援手段として導入する自治体が増えている。本市においても先進事例を参考に、より一層の取組として検討したい。

**問** 投票行動を促すため、投票の来場者に投票を推奨する

PR文言を貼付した市指定収集ゴミ袋を進呈してはどうか。

**企財** 選挙権は本人の自発的意思によって行使すべきであるため、物やサービスの提供によって投票所に誘導すべきではないと考えている。また、公職選挙法の趣旨から外れる恐れがある認識している。

**市長** 選挙管理委員会においては支援カードやコミュニケーションボード等を参考に、投票率向上に向けた取組を期待している。

### 中学校の不登校対策について

**問** 文部科学省が3月に発表したCOCOLOプランについての浅口市の取組は。

**教育長** 認めて、褒めて、励ます教育に力を注ぎ、自己肯定感を伸ばす取組をしてきた。また、登校支援員を配置し、学習支援や保護者からの相談支援を行っている。

**問** 保護者への対応や不登校生徒の進級と卒業基準は。

**教育長** 校長や教頭、養護教諭との相談機会を設けている。年度末に進級認定会議を行い、最終的に校長が認定を行っている。



加藤 淳二



### DX(デジタルトランスフォーメーション)推進による市の組織再編について

**問** どのような組織体制で、開始時期はいつか。

**企財** 両総合支所の産業建設課を廃止し、産業建設部と上下水道部の各課へ業務を集約する。産業建設部は市役所分庁舎、上下水道部は金光総合支所に配置。総合支所市民生活課は現状を維持する。令和6年4月1日スタート予定。

**問** 最初に取組む2部門の課題は何か。

**企財** 不足している土木技術専門職員を集約し、両部署の機能を強化。効率的・効果的な行政運営を行う。また、離れている施設の職員間での相談や申請書受理などの行政手続きを可能とする「遠隔相談窓口」を設置する予定。

**市長** デジタル技術を活用する

ことで、本庁及び総合支所いずれにおいてもワンストップで同様のサービスが可能となるよう検討を指示している。

### 第2次浅口市環境基本計画について

**問** この計画の概略は。

**生環** 地球環境・資源環境・生活環境・自然環境・環境教育及び環境保全活動の5つの分野でまちづくりの基本目標・環境施策を設定している。

**問** 市民一人一人が自発的に環境保全に取り組む動機づけ施策が不可欠。環境意識高揚を図る具体策は。

**生環** 各種報奨金制度や補助金制度、1か月間のごみ処理量の前年比較を市報に掲載している。

**問** 海ごみについて、漁業者に対して回収の助成制度をつくるはどうか。

**生環** 助成制度は設けていない。引き続きご協力をいただけるよう漁業関係者と協議していく。

**市長** 陸地で発生したごみが海に流れる。高梁川流域連盟で具体策実施に向けた協議が行われる予定。県にも対策実施を強く要望している。



沖原 有美



公共施設における男性トイレのサンタリーボックス設置について

**問** 近年、高齢男性を中心に前立腺がんや膀胱がんになり、パットやおむつが必要になる方が増えている。気兼ねなく外出できるように、男性トイレにサンタリーボックスを設置してはどうか。

**健福** 男性トイレのサンタリーボックスの設置は必要であると考えており、現在健康福祉センターで準備中である。

**問** 設置するのであれば、ある程度の大きさが必要になるが、どのようなものを考えているのか。

**健福** 大きさはおしめが十分に入るサイズで、衛生面からペダルを踏むことで、蓋が開くようなものを今準備している。

**問** 福祉センターだけでなく、多くの市民が訪れる施設にも

設置してはどうか。  
**市長** まずは健康福祉センターから設置を始めたい。

公共交通の拡充について

**問** 市営バスで、道が狭くて回れない地域や、高齢のため停留所まで歩くことができない方への対応は。

**企財** できる限り細かくバス停を設けているが、要望に変化があればルートの見直しも検討したい。タクシーなど既存の民間サービスも利用してほしい。

**問** 交通難民を無くすためにタクシー券やデマンドタクシーを併用しては。

**企財** 浅口市は面積も小さく集落が接近して、需要集中が予想され多くの車両や運転手が必要になる。市営バスとの併用は、実現性や費用面で困難である。

**問** 乗りたくても乗れない方々をどうしたら救えるのかを考えるのが行政の役目と思うが、公共交通を拡充する考えは。

**市長** 既存の交通サービスを利用していただき、市営バスに乗れなくなった方は福祉の制度を利用してほしい。



妹尾 義信



市内飲食店の支援について

**問** 今、卵の価格上昇が続いているが、今後、価格が落ち着くのはどのくらいの期間を要するか、予測は。

**産建** 農林水産省では約1年ほど高値の状態が続くとの見通しを立てている。

**問** その間、卵を扱っている飲食店への支援はできないか。

**産建** 今後、必要に応じて事業者支援を検討、実施していきたい。

下水処理に伴う汚泥について

**問** 汚泥はどのように処分しているのか。

**上下水** 浄化センターで発生する汚泥は外部の処理施設に搬入して処理している。

**問** その汚泥処分の予算は。

**上下水** 令和5年度当初予算は4695万6000円。これは処分費と運搬費も含まれている。

デジタル行政について

**問** デジタルに特化した人材を専門職として雇用する考えは。

**企財** 今年度から国の人材派遣事業の活用も考えている。現在は、必要とする分野でその都度人材を活用する形で事業を進めている。

**問** 今後、どのようなデジタル人材が必要になると考えているか。

**企財** 幅広いデジタル技術や知識の習得、そして現状の業務を的確に把握し、市民目線での考え方ができる人材。

**問** 学校や指導要領の範囲に限らず、デジタル人材を育成していく考えは。

**教育長** 市では一人一台端末を活用し、プログラミングや調べ学習、意見の交流など多様な使い方を工夫している。

**問** 市のデジタル行政の未来像は。

**市長** これからは、市役所に訪れることなくオンライン上でも行政サービスが利用できる環境を整えていく。誰一人取り残されることなくデジタル技術の恩恵を受けられるよう、引き続き情報機器に不慣れな方への対策についても積極的に取り組んでいく。



藤井 立子



### リチウムイオン電池の適正な処理方法について

**問** 小型家電内部のリチウムイオン電池の廃棄はどうするのか。

**生環** 取り外すことができるものは、市内の回収協力店に出すか、資源物回収の乾電池として出す。取り外せない小型家電は、本庁や両支所などに設置している回収ボックスに入れ、それに入らないものは両支所やリサイクルセンターに持ち込むようお願いしている。

**問** 燃えるごみや燃えないごみに混入したらどうなるのか。

**生環** 収集、運搬や処理過程で発火し、収集車や清掃工場などで火災事故が発生することが考えられる。

**問** 「使用済み小型家電のリサイクル協力のお願ひ」のチラシには、「不燃ごみ、粗大ごみとして出せる」とあるが、改善が必要では。

**生環** 使用済み小型家電の回収

や、リサイクル事業のPRが主で、処理方法まで触れていなかった。リチウムイオン電池の正しい処理方法の記述を加えるなどの修正をしたい。

### 映画「とんぼ」後のまちづくりについて

**問** 昨年、大谷地区で「歴史的建造物残存調査」が行われ、今年3月に報告会が開催されたが内容は。

**教育長** 大谷地区内457件の建築調査があり、伝統的建造物は138件現存していることが確認され、歴史的都市景観が残っていると報告があった。

**問** 「伝統的建造物群保存地区制度」などの申請時に市・県・国の役割は。また、大谷西地区の建造物や町並みを観光資源として活用する考えは。

**教育長** 市は伝統的建造物群保存地区の決定、県は市からの内容の精査、国は市の申出に基づき、価値が高いと判断されるものを伝統的建造物群保存地区などに選定する。

**市長** 大谷地区の建造物や町並みは大変魅力的なものであり、今後観光資源として活用したい。



早苗 ネネ



### マイナンバーカードについて

**問** 市での取得者数の割合は。

**生環** 令和5年3月31日現在、交付件数は2万5482件で、交付率は75.8%。

**問** 来年秋に健康保険証がマイナンバーカードと一体化される。暗証番号など、カードを預かる介護施設の負担が大きくなるのでは。

**生環** 施設入所者のカード取扱いの留意点を整理、安心して管理できる環境づくりを推進するという国の今後の動向を注視したい。

**問** 申請作業ミスがメディアで取り上げられている。市の申請窓口での状況は。

**生環** 公金受取口座や健康保険証の誤登録は把握していない。

**問** 通知カードがあるのに、なぜマイナンバーカードを作るのか。

**生環** 通知カードの新規発行等

の手続は廃止された。住所異動や紛失しても再発行できない。マイナンバーカードは本人確認やコンビニでの住民票の写し取得、転出届や確定申告のオンライン手続ができるなどの機能を有している。

### ワクチン接種について

**問** 新型コロナウイルスワクチンを受けていない市民の割合は。

**健福** 令和5年6月2日現在、18.6%。

**問** ワクチン接種による副反応の状況は。

**健福** 頭痛や発熱、アレルギー反応などを生じることがある。市民に副反応が何件あったかは把握できていない。

**問** 5月8日から開始されている「令和5年春開始接種」の状況は。

**健福** 約1万5600通の接種券を発送し、6月2日現在、1833人が接種している。

**問** ワクチンの副反応や子どもの将来への影響を心配している保護者がいるが。

**市長** 接種は強制ではなく、本人の意思。しっかりとメリット・デメリットも考えて判断していただければと思う。



石井由紀子



### 2023年あさくち花火大会開催について

**問** あさくち花火大会の開催について、内容は決定しているか。

**産建** 8月26日に計画されている。地域物産展やステージイベントも企画しているが詳細は決まっていない。

**問** 花火を目的に訪れる方々に市内の観光地を巡っていただく取組は。

**産建** 本市の特産品や観光地の魅力を知っていただくため、地域物産展における効果的なPRを検討したい。市ホームページにおいて花火大会情報にアクセスした方が、特産品やイベント、観光地情報に続けてアクセスできるように工夫したい。

### 市内公共施設の老朽化に伴う管理状況と対策について

**問** 市内公共施設は災害時の避

難所になっているが、健康福祉センターにおいて、老朽化により使用困難な場所は把握しているか。

**健福** 故障により使用を中止している箇所がある。トイレも老朽化しており、令和6年度までに洋式化する予定。扉の不具合は今年度8月までに修理を完了する予定。

**問** 浴場はまだ使用禁止だが、緊急時は使用可能か。

**健福** 定期的なボイラー・地下タンクなどの点検を行っており、故障なく動くことを確認している。再開する前には水質検査等の事前準備が必要であり、緊急を要した場合でも水質検査には約一か月程度の時間が必要。

**問** 避難場所としての役目もあるので整備を優先する必要があるのでは。

**市長** 公共施設の管理は、法定点検に加え、日常的に職員が点検している。異常箇所が発見された場合は、危険性や緊急性等を総合的に判断し、優先順位の高いものから修繕等を実施している。市民の皆様が安心・安全で快適に利用できるよう維持管理に努める。



井上 邦男



### 農業用ため池の管理について

**問** ため池の管理は善意ではなく、防災上法律によって定められており、適正管理が行われないと危険性が除去できないなどの問題もある。どのような方法で管理人に責任を持たせているか。

**産建** 一部の例外を除き、管理主体は市となっている。重大な過失等が無い限りは市の責任となる。

**問** ため池管理マニュアルに従って適切な管理がされているかを確認する仕組み・制度は。

**産建** このマニュアルは一般的な考え方を示したものであり、画一的に管理できるものではない。市としては確認についての仕組みや制度は設けていない。

**問** ため池の安全確保のための措置は。

**産建** 地域防災の役割を果たしていることに留意し、施設機能

の確保を市が行うべきと考えている。

**問** 市の、管理人によるため池管理の方法では十分とは言えず、浸水想定地域等の住民にとって、管理不十分の施設は危険である。今後、受益地が減少したため池の管理を廃止も含めて、どう行うのか。

**産建** 利水面だけでなく多面的な機能を発揮できる管理を進める必要がある。利水者や農業者、地域住民等の多様な主体が参画した管理手法も一つの手段として検討していく。ため池廃止も制度上可能であり、利水面の機能を発揮しないため池の廃止もありえる。

**問** ため池の堤防が、長期間にわたり草刈り等の管理が行われず放置されている。どう改善するのか。

**産建** ため池を地域資源と位置付け、農業者だけでなく、地域住民にも当事者意識を持っていただくことも必要であり、利用や管理のあり方を考えていく必要がある。

**市長** 自然と共生した安心・安全のまちづくりに努めてまいりたい。



# 定例会を動画で チェックしよう!



## スマートフォン・タブレットからの視聴方法



二次元コードを読み込む

読み取り内容  
<https://www.city.asakuchi.lg.jp/gyose/gikai/index.html>  
QRCode

リンク先をクリック

注!

カメラアプリで読み込むもの、二次元コード専用アプリで読み込むものなど、機種によって方法は異なります。



## ホームページからの視聴方法

インターネットで市議会ホームページを検索



浅口市議会では市民に開かれた議会をご覧になりたい会議名をクリックして

- 全期5年3月定例会
- 全期5年12月定例会
- 全期4年9月定例会

「本会議録画中継」から「会議名」をクリック



## 春の叙勲

### 中西美治さんが 旭日双光章を受章



中西さんは、平成15年に寄島町議会議員に初当選し、町議会議員を1期3年、合併後も浅口市議会議員として4期16年間在職。市議会で議長を務めるなど、地方自治の発展にご尽力されました。

## 声

の議会だより



目の不自由な方にも議会の内容をお知らせするため、浅口はるか会のご協力により議会だよりを音訳しています。

必要な方は社会福祉協議会へ

☎ 0865-44-7744

## 傍聴へ

お越しく下さい

9月定例会

9月5日(火)から

傍聴は、議会に触れることのできる最も身近な方法です。どうぞお気軽にお越しく下さい。会議中、傍聴者はご自由に出入りできますので、まず議会事務局で受付を済ませてお入りください。会議の詳しい日程は、8月下旬に議会運営委員会で決定され、ホームページやあさくちメールでお知らせします。



## 今月の表紙写真

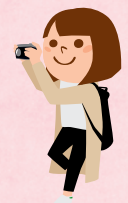
春には潮干狩り、夏にはたくさんの海水浴客で賑わう、景色が美しいと評判の青佐海岸です。奥に見えるのは三郎島と三ツ山です。

写真の提供者は鴨方町の齋藤智恵子さんで、「海のブルーと青い空の一体感に魅せられての撮影」だそうです。ご応募ありがとうございました。

## あなたの写真

表紙にのせませんか?

表紙に掲載する「あさくちイチ押し写真(風景)」を募集しています。あなたのお気に入りの風景、思い出の風景を送ってください。タイトルや場所の説明等を記載し、写真を添付して、市議会事務局へメールでご応募ください。二次元コードから簡単にメール送信できます。



☎ 0865-44-7010